

図書及び参考資料用の COUNTER 実施コードについて*(Peter T. Shepherd)**

Shepherd, Peter T. The COUNTER Code of Practice for books and reference works.

Serials. Vol.19, No.1, 2006. p. 23-27.

抄録

新しいオンライン図書および参考資料用の COUNTER 実施コードの草案は 2005 年 1 月に公表された。その全体の形式と構造は、既存の雑誌およびデータベース用の COUNTER 実施コードと整合性がある。利用レポートの内容のみが変更され、用語定義のセットが拡張された。新しい実施コードの開発において直面した主要な課題は、出版社の間にオンライン図書の定義、構造および配布について整合性がなかったことであった。ある出版社は、全体をダウンロードできるようにオンライン図書を単一ファイルのみで利用できるようにしている。別の出版社は辞書の定義のような個々の章や記入をダウンロードできるようにしている。COUNTER 実施コードはこれらやその他のシナリオを対象とする。

はじめに

新しいオンライン図書および参考資料用の COUNTER 実施コード (COUNTER Code of Practice for online books and reference works) のリリース 1 は 2005 年 1 月に公表された。これは雑誌およびデータベースの範囲を越えた COUNTER の初めての拡張を示す¹。オンライン図書および参考資料用の実施コードは、これらの製品に専門家としての知識を有する図書館員および出版社のタスクフォースの情報提供によって開発され、それは、オンライン図書の利用データを記録し、報告する包括的な業界標準の導入の初めての試みである。その全体の形式と構造は、既存の雑誌およびデータベース用の COUNTER 実施コード (COUNTER Code of Practice for journals and databases) と整合性がある。利用レポートの内容のみが変更され、一連の用語定義が拡張された。レポート送付、データ処理、検査および遵守の仕様は雑誌およびデータベース用の実施コードで既に規定されているものと一致している。

新しい実施コードの開発で直面した主要な課題は、出版社の間にオンライン図書の定義、構造および配布について整合性がなかったことであった。オンラインジャーナルの場合、利用統計で測定しなければならない最も重要なコンテンツの単位が、論文全文であることに広範な合意があった。COUNTER[の成立]以前でさえ、ほとんどの雑誌出版社は雑誌論文全文のダウンロード件数を測定し続けていた。COUNTER の主要な役割は、雑誌出版社が同一の標準とプロトコルを利用することを保証することであった。図書についてはそのような合意がない。ある出版社は、全体をダウンロードできるようにオンライン図書を単一ファイルのみでしか利用できないようにしており、ヴェンダーはそれ以上利用を追跡することができない。別の出版社は辞書の定義や化合物のような個々の章や記入項目をダウンロードできるようにしている。私たちは実施コードの草案でこれらのシナリオの両方を扱うことが適切であると感じ、これは以下に説明する利用レポートに反映されている。

*2005 年 11 月 9 日に英国図書館会議センターで開催された UKSG セミナー「電子ブック：新しい逐次刊行物か」の発表論文に基づく

**COUNTER Online Metrics プロジェクト責任者

図書および参考資料用の COUNTER 実施コードリリース 2 の全文は、COUNTER のウェブサイト（www.projectCounger.org）から無料で入手できる。それは 2005 年 12 月まで長期間コメントを求めるために利用できた。ヴェンダーと図書館員の両方が、文書を評価し、COUNTER プロジェクト責任者にコメントを提出するよう勧められていた。2006 年の初めにこの実施コードの最終版を公表することを計画していた。その主な特徴は次のようにまとめられる。

使用する用語の定義

元になった雑誌およびデータベース用の実施コードは、利用レポートやコードの他の部分で利用される広範なデータ要素や他の用語の一覧表を含んでいる。できる限り、NISO、ISO、ARL や他の組織による既存の定義が利用された。定義された用語は「ヴェンダー」、「アグリゲータ」、「検索」、「項目要求 (item request)」、「コンソーシアム」、「コンソーシアム会員」である。この包括的な定義の一覧表は、有用な業界資源であることが理解され、だんだん COUNTER と直接関係がない目的のために広く使われているようになってきている。それは、今や、図書および参考資料を扱うために拡張されつつある。新しい定義は次のものを含む。

- 章 (Chapter): 図書又はある種の参考資料の区分で、通常、番号と表題がある。
- 記入事項 (Entry): ある種の参考資料における情報記録 (例: 辞書の定義)
- 参考資料 (Reference Work): ある主題についての権威を持つ情報源で、質問に対する即座の回答に使用される
- セクション (Section): 図書または参考資料の最初の区分 (章, 記入事項)

雑誌およびデータベースと同様に、既に適切な定義がある場合にはこれが利用され、NISO (National Information Standards Organization) のような情報源が示される。他の定義は多数の情報源を利用して図書タスクフォースが開発した。

また、定義したのは、アグリゲータやゲートウェイがヴェンダーのコンテンツの顧客への送付に関与する場合に監視されるプロトコルである。これらのプロトコルは、中間アグリゲータやゲートウェイが関与する状況で出版社とアグリゲータが利用を重複して数えることを避けるために特に重要である。

データ処理と検査

利用記録が生成される方法はプラットフォームによって異なり、データをきれいにするために使用する可能性のあるフィルターをすべて記載するのは実用にそぐわない。その代わりに、実施コードでは利用レポートの構築に使用されるデータに合わせた要求を特定している。指針となる原則は、意図した利用のみが記録されるべきであり、利用者が意図しないすべての要求は除去されるということである。この目的のために、HTML リンク内の 10 秒以内の相互のダブルクリックは 1 回の要求として数えられる。PDF リンクが含まれる場合は、PDF を取り出すのにもっと長い時間がかかるので、このフィルターは 30 秒以内に設定される。

ヴェンダーの利用レポートの検査と第三者による認証プロセスは、図書および雑誌用の実務コードが実装された場合の遵守要件となろう。詳細な検査仕様は実施コードの付録として提供される。

利用レポート

本 COUNTER 実施コードの草案は、タイトル中のセクション（章、事典の記入項目）と同様にタイトル全体に対する全文要求を扱う 5 つの基本的な利用レポートを提供する。検索、セッションおよびアクセス拒否も扱われる。

これらのレポートは次のとおりである。

- 図書レポート 1：月別およびタイトル別の成功したタイトルの要求件数
- 図書レポート 2：月別およびタイトル別の成功したセクションの要求件数
- 図書レポート 3：月別およびタイトル別のアクセス拒否（turnaways）件数
- 図書レポート 4：月別およびタイトル別の合計検索数および合計セッション数
- 図書レポート 5：月別およびサービス別の合計検索数および合計セッション数

レポートフォーマット、データ処理の指針、送付プロトコルは、雑誌およびデータベースで既に使用しているものと全く同一である。同様に、検索、セッションおよびアクセス拒否は、雑誌およびデータベース[実務コード]と同じ方法で定義され、これらに関連する利用レポート（上記 3、4 および 5）は雑誌およびデータベース用のものに対応している。この目的のために、ここでは、図書レポート 1 および図書レポート 2 に焦点を当てることにする。というのは、これらは実務コードの草案について新しい重要な要素を含んでおり、今後の議論に有益であるからである。

図書レポート 1（表 1 参照）は、タイトル全体しかダウンロードできず、ヴェンダーによってオンライン利用をそれ以上観察できないタイトル用の利用統計を提供するように作られている。

表 1. 図書レポート 1: 月別およびタイトル別の成功したタイトルの要求件数（詳細書名および ISBN を列挙）

タイトル	出版社	ISBN	Jan2001	Feb2001	Mar2001	計
全タイトル合計			637	732	550	5,897
タイトル AA		1212-3131	56	21	65	532
タイトル BB		9821-3361	23	51	75	465
タイトル CC		2464-2121	0	0	0	0
タイトル DD		5355-5444	13	51	75	978

注

1. 「基準」は、たとえば利用レポートが参照する組織レベルを示す。例) 'Harvard University', 'Department of Chemistry'
2. 「全タイトル合計」行は表の残りを混乱させることなく分けることができるように表の先頭に置かれる。というのは

[表に含まれる]図書の数には月によって異なるからである。

3.アグリゲータあるいはゲートウェイに利用の記録と報告の責任がある場合を除いて、各月の要求件数が0件である図書は図書レポート1に含むべきである。

図書レポート2(表2参照)は、ベンダーがタイトル中の個々のセクションの利用を測定することができるように作られている。「セクション」は、「章」や「記入事項」のような、完全なタイトルの下位の次の水準の組織構造である。私たちは、より包括的な定義に基づく単一のレポートの方が、「章」に基づく構造のタイトルでは、「記入事項」を含むことはありそうになく、その逆も同じなので、「章」や「記入事項」に対する独立のレポートを持つよりも適切であると思った。

表2. 図書レポート1: 月別およびタイトル別の成功したセクションの要求件数(詳細書名およびISBNを列挙)

図書レポート1 <基準> 実施日付 yyyy-mm-dd						
タイトル	出版社	ISBN	Jan2001	Feb2001	Mar2001	計
全タイトル合計			6,637	8,732	7,550	45,897
タイトル AA		1212-3131	456	521	665	4,532
タイトル BB		9821-3361	223	251	275	3,465
タイトル CC		2464-2121	0	0	0	0
タイトル DD		5355-5444	203	251	275	2,978

注

- 1.「基準」については、表1の注1を参照。
- 2.「全タイトル合計」については表1の注2を参照。
- 3.アグリゲータあるいはゲートウェイに利用の記録と報告の責任がある場合を除いて、各月のセクションの要求件数が0件である図書は図書レポート2に含むべきである。

実施コードの遵守

実務コードの遵守には、二つの方法が推奨される。第一は、顧客が、関連する全てのライセンス契約書に COUNTER 遵守利用統計の提供を規定した条項を含むようにベンダーに促すことであろう。この条項の標準的な文言は実務コードで提供されている。第二は、利用レポートが「COUNTER 遵守」の状態を獲得するために、ベンダーが正式の「COUNTER 遵守の宣言」に署名し、COUNTER が遵守を主張しているそれらの利用レポートを評価することを認めなければならない。これらのレポートは、COUNTER のウェブサイトのベンダー登録簿(the register of vendors)に掲載される。そこに掲載されたレポートのみが COUNTER 遵守とみなすことができる。2004 年以来、ベンダー利用統計は 5 つの図書館テストサイトによって検査されている。それらは、個々のベンダーおよび COUNTER に対する有益なフィードバックをもたらし、これ

は[実務コードの]実装に役立っている。

2005年7月には40を越えるヴェンダーが雑誌およびデータベース用の実施コードを遵守していた。仲介業者と同様に主要な出版社が現在[実施コード]遵守となっており、それらには AAAS(American Association for Advancement of Science) ,ACS(American Chemical Society) ,AIP(American Institute of Physics) ,Blackwell Publishing ,EBSCO , Elsevier , HighWire Press , ISI , Oxford University Press , NPG , Springer および Wiley が含まれる。既に Science Citation Index が収録する論文の年間の生産量の60%以上が COUNTER 準拠の雑誌に含まれており、この割合は着実に伸びている。

ヴェンダーは図書および参考資料用の実施コードを別に遵守しなければならないであろう。

レポートの送付

りレポートの送付は、次の基準に従っていなければならない。

- レポートは、CSV ファイルか、マイクロソフト社の Excel ファイルか、マイクロソフト社の Excel に簡単に取り込むことができるファイルでなければならない。
- レポートはパスワードで管理されたウェブサイトから入手できなければならない(データが更新された場合は、メールにより通知すること)。
- レポートは毎月提供されなければならない。
- データは、報告期間の終わりから4週間以内に更新されなければならない。
- 前年の全てのデータおよび当年の最新月までのデータが提供されなければならない。

実施コードへのフィードバック

フィードバックは、COUNTER ウェブサイト、会議および2005年11月3日に開催された特に組織された図書館員のフォーカスグループを通じて寄せられた。雑誌用の実施コードの開発とは異なって、図書館員と出版社の両方から彼らが図書用の実施コードに何を期待しているかがそれほどはっきりしていないように思われた。しかし、図書館員にはそのようなコードを強く要望していることは明らかである。

全体として、私たちへのフィードバックは、両方のコミュニティが、私たちが採用している、出版社が広い範囲にわたって実装可能であり、一般に図書館員に役に立つ、比較的単純な一連のレポートを開発しようとする総合的なアプローチに満足していることを示した。

私たちに寄せられた勧告を以下に列挙する

実施コードの内容

a. 定義：リリース1用に「図書」を定義しない。私たちは、その代わりに、それを受け取ったときにこれに対して各アプリケーションを適用し、判断する製品の種類についてのガイドラインを提供できる。

b. 利用レポート：

- 新しい 13 桁の ISBN フォーマットを含む。
- 詳細な表示規則を含む，雑誌用の実務コードのリリース 2 が使用している全体フォーマットを採用する。
- 全レポートに「出版社」および「プラットフォーム」の欄を含む。
- リリース 1 の特定のコンソーシアムレベルのレポートを含まない。というのは，
 図書館のコンソーシアム購入は，雑誌に比べて重要性が低いからである。
- 現在の図書館レポート 1 から 5 まで：実施コードの最終版で 5 つのレポートを保持保する。
- 追加レポート
 - アクセス拒否の大半がサービスレベルなので「月別サービス別のアクセス拒否」を扱う新しいレポートを含む。
 - 音楽事典のサウンドトラックや美術事典のイメージのような「セクション」以下のレベルを報告することができるようにオプションの追加レポートを検討する。

タイムテーブル

図書館および参考資料用の実施コードの最終バージョンは 2006 年 2 月に公表することが予定された。

COUNTER の組織と会員

COUNTER が長期間にわたって成長し，出版，図書館，仲介業者のコミュニティを支援するであろうことを保証するために，2004 年 8 月に英国で独立の非営利会社が設置された。[それは]「Counter Online Metrics」として知られ，6 人の役員会が統治し，Oxford University Press の Richard Gedye が議長である。役員会の監督下にある執行委員会が COUNTER の管理に責任を持っている。執行委員会の 13 人の委員は，国際的な出版社，仲介業者および図書館コミュニティを代表している。加えて同様のコミュニティからの 30 人以上の専門家によって構成される国際諮問委員会がある。

COUNTER Online Metrics は会員によって保有され，2004 年以来，唯一の収入源は会員の会費である。出版社，仲介業者，図書館，コンソーシアムおよび業界団体のすべては，2006 年には次の料金で投票権のある正会員となる資格がある。出版社 515 ポンド（775 ドル），仲介業者 515 ポンド（775 ドル），図書館 258 ポンド（387 ドル），業界団体 258 ポンド（387 ドル），コンソーシアム 345 ポンド（515 ドル）。

2005 年末で全カテゴリーの 200 を越える会員がいた。2006 年の私たちの目標は，将来の堅実な財政基盤を確保するための 250 人以上の会員である。COUNTER の財政上の要求は穏当である。私たちには活動を支えるために年間約 10 万ドルの収入が必要である。

COUNTER の会員の便益は次のものを含む。

- 役員会の指名を含む，COUNTER の指揮と管理についての年次総会での投票権
- COUNTER の進展についての定期的な会報

■ COUNTERの実装についての助言

申込様式と同様に会員についてのより詳しい情報は、COUNTER のウェブサイト (www.projectCounter.org) 上で見つけることができる。

参考文献

1. Shepherd, P.T., COUNTER: from conception to compliance, *Learned Publishing*. Vol.16, No.3, 2003, p. 201-205.